

平成29年度 函館市地域包括支援センター活動実績

目 次

○ 函館市の特徴と課題	1
【介護予防事業】	
○ 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	
1 健康づくり教室	2
2 住民への介護予防に関する広報・啓発活動	3
【包括的支援事業】	
○ 総合相談支援業務	
1 地域包括支援ネットワークの構築	4
2 実態把握	6
3 総合相談	7
4 保健福祉サービス等利用調整	8
5 住民に対する広報・啓発活動	8
○ 権利擁護業務	
1 権利擁護相談対応状況	9
2 スキルアップ対策	12
3 住民等に対する広報・啓発活動	12
○ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況	13
2 介護支援専門員への個別支援	15
○ 地域ケア会議推進事業	
1 地域ケア会議開催状況	21
2 住民等に対する広報・啓発活動	26
【任意事業】	
1 住宅改修支援事業	27

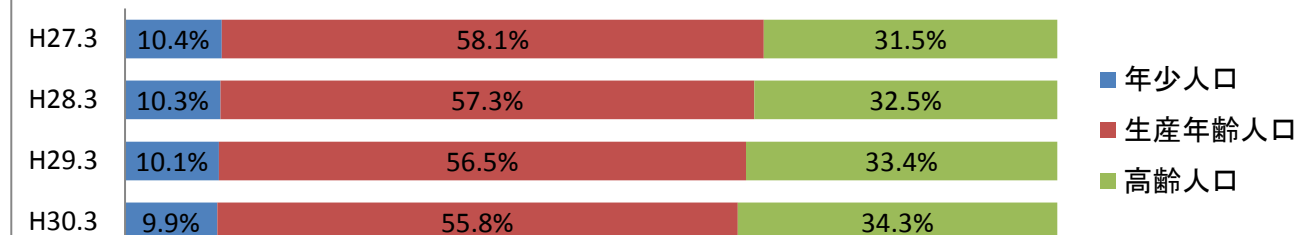
函館市の特徴と課題

1. 人口の推移と年齢構成

(人)

	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	割合
年少人口	28,645	27,977	27,356	26,580	25,783	9.9%
生産年齢人口	161,560	156,780	152,760	149,062	145,235	55.8%
高齢人口	82,325	84,871	86,657	88,064	89,156	34.3%
(再掲) 65～74歳	41,190	43,056	43,840	44,041	44,393	17.1%
(再掲) 75歳以上	41,135	41,815	42,817	44,023	44,763	17.2%

年齢構成割合の推移



2. 世帯構成(H30.3末)

(件)

	世帯数	割合
高齢者単身世帯	34,116	24.0%
高齢者複数世帯	18,178	12.8%
その他	90,095	63.3%

3. 介護保険サービス事業所数(H30.3末)

(件)

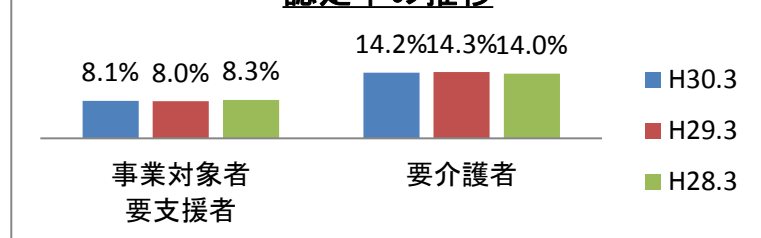
居宅介護支援・小規模多機能型等	130
地域密着型サービス	144

4. 事業対象者、要支援・要介護認定者の状況

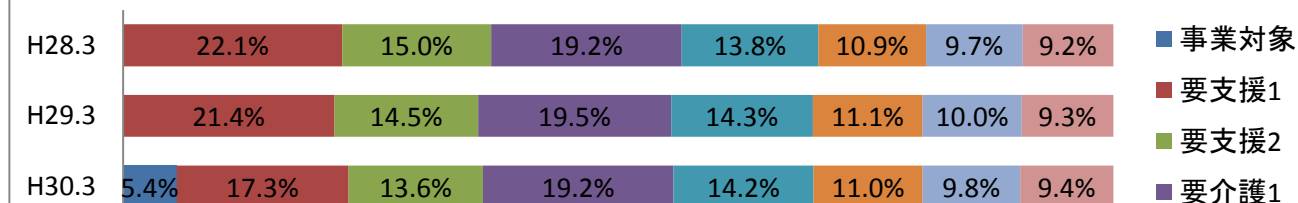
(人)

	H28.3		H29.3		H30.3	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
事業対象者	—	—	—	—	1,081	1.2%
要支援認定者	7,159	8.3%	7,029	8.0%	6,172	6.9%
要介護認定者	12,101	14.0%	12,583	14.3%	12,702	14.2%
事業対象・要支援認定者の給付実績	4,465	62.4%	4,464	63.5%	4,607	63.5%

認定率の推移



介護度の内訳の推移



【介護予防事業】高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

1 健康づくり教室

(1) 新規教室実施状況

(人・回)

センター名	実施回数	会場	従事者数			参加者数			1人の平均参加回数	アンケート結果 (維持・向上した人の割合)				平成30年度の方向性 (平成29年度末時点)
			実数	延数	1回平均	実数	延数	1回平均		主観的健康観	運動・趣味活動	外出頻度	社会活動頻度	
あさひ	17	平山医院①	11	88	5.2	13	123	7.2	9.5	88.9%	100.0%	88.9%	77.8%	自主活動グループへ移行
	17	平山医院②	13	87	5.1	11	136	8.0	12.4	90.0%	80.0%	80.0%	70.0%	継続して開催支援
	12	第二船見町会館	6	44	3.7	20	135	11.3	6.8	83.3%	83.3%	75.0%	91.7%	継続して開催支援
こん中央	15	若松町会館	6	76	5.1	27	216	14.4	8.0	54.5%	81.8%	72.7%	100.0%	継続して開催支援
ときとう	19	人見町会館	7	42	2.2	18	221	11.6	12.3	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	継続して開催支援
ゆのかわ	12	深駒町会館	6	23	1.9	41	293	24.4	7.1	91.3%	100.0%	69.6%	87.0%	自主活動グループへ移行
	13	函館フットボールパーク	8	40	3.1	24	210	16.2	8.8	92.9%	100.0%	100.0%	100.0%	自主活動グループへ移行
たかおか	12	古川町会館	7	48	4.0	16	164	13.7	10.3	88.9%	88.9%	88.9%	77.8%	継続して開催支援
西堀	24	西堀病院東治ホール	22	73	3.0	17	316	13.2	18.6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	終了
亀田	19	アメニティーコレクティブ	22	114	6.0	25	219	11.5	8.8	81.8%	81.8%	81.8%	72.7%	継続して開催支援
神山	24	花園団地集会所	53	119	5.0	19	354	14.8	18.6	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	自主活動グループへ移行
よろこび	12	桔梗交流福祉センター	7	26	2.2	20	236	19.7	11.8	86.7%	100.0%	86.7%	100.0%	自主活動グループへ移行
社協	16	戸井西部総合センター	8	36	2.3	13	137	8.6	10.5	81.8%	81.8%	54.5%	81.8%	継続して開催支援
	12	楳法華総合センター	6	31	2.6	10	57	4.8	5.7	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	自主活動グループへ移行
合計	224		182	847	3.8	274	2,817	12.6	10.3					
H28実績	189		145	598	3.2	291	2,378	12.6	8.2					

※従事者数には、センター職員のほか、外部講師やボランティアも含まれる。

(2) 継続教室実施状況

(回)

センター名	実施年数	会場	支援回数	平成30年度の方向性 (平成29年度末時点)
あさひ	3年目	入舟町会館	17	自主活動グループへ移行
	3年目	末広町会館	9	自主活動グループへ移行
こん中央	2年目	的場町会館	15	自主活動グループへ移行
	3年目	新川町会館	22	継続して開催支援
	4年目	特別養護老人ホーム松濤	5	自主活動グループへ移行
	9年目	救護施設説明和園	19	継続して開催支援
ときとう	2年目	時任町会館	21	自主活動グループへ移行
	2年目	五稜郭町会館	22	自主活動グループへ移行
たかおか	2年目	百寿会館	12	終了
	3年目	サテライト百楽園	6	終了
亀田	2年目	北美原町会館	23	終了
よろこび	2年目	亀田港町会館	12	自主活動グループへ移行
	2年目	亀田町民会館	12	自主活動グループへ移行

- ・新規教室は、平成28年度と比較して1教室少ない14教室の実施となった。1回あたりの平均参加者数は、昨年度と同様12.6人だったが、1回あたりの平均従事者数は3.2人から3.6人に増加しており、参加者に対し、より手厚い支援が行われていた。
- ・町会館以外での開催が、平成28年度の0か所から8カ所に増加した。病院での開催では、リハビリ職の協力を多く得られていた。また、はじめてサービス付高齢者向け住宅で開催するなど、地域の状況に応じた多様な運営が行われるようになってきたと評価できる。
- ・14教室のうち、6教室が自主化し、7教室が自主化に向けて継続支援を行うことになった。自主化・継続支援となった教室の割合が、平成28年度の67%から93%へと大幅に増加した。平成28年度から自主化に向けた取組みを強化してきた効果と考えられる。
- ・継続教室においても、13教室中8教室が自主化し、2教室が自主化に向けて継続支援を行うことになったが、自主化に至らず終了した教室も3教室あった。終了した教室では、リーダーの意向の不一致、リーダー不足など担い手に関わる問題が要因となったグループがあった一方、サロンに移行するために終了した教室もあった。

※ゆのかわ、西堀、神山、社協は実施なし

(参考) 自主活動グループ

センター名	新規教室 開始年度	会 場
あ さ ひ	H22	宝来町会館
	H24	東川町会館
	H25	女性センター
	H25	弥生小学校
	H29	大森町会館(※1)
こ ん 中 央	H22	千代台町会館
	H26	特別養護老人ホーム松濤(※1)
	H26	上新川町会館
	H27	終末処理場集会所
と き と う	H20	乃木町会館(※2)
	H24	柏木町会館
	H24	梁川町会館
	H26	道営柳町団地
	H26	教育大函館校(八幡町)
ゆ の か わ	H21	湯川1丁目町会
	H23	湯川3丁目町会館
	H23	花園町団地4号棟(花園町団地)
	H25	日吉3丁目団地集会所
	H25	ホテル湯の川
	H26	深掘町会館(深掘町会)
	H26	深掘町会館(川原町会)

センター名	新規教室 開始年度	会 場
た か お か	H22	根崎生活館(高松町親交会)
	H27	空港団地町会館
亀 田	H22	石川町会館
	H24	昭和町会館
	H27	美原商店街振興会館
神 山	H23	本通中央町会館
	H23	本通町会館
	H26	東山見晴団地町会館
	H28	ひばりが丘町会集会所
よ ろ こ び	H23	追分町会館
	H24	桔梗町会館
	H25	北浜町会館
社 協	H24	中浜会館
	H26	恵山コミュニティーセンター
	H26	社協戸井支所
	H27	柏野会館
	H29	社協榎法華支所等

※1 平成29年度の途中から自主化

※2 センターの独自事業として開始

2 住民への介護予防に関する広報・啓発活動

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あ さ ひ	7	3
こ ん 中 央	4	2
と き と う	5	6
ゆ の か わ	15	7
た か お か	10	1
西 堀	1	6
亀 田	7	1
神 山	3	7
よ ろ こ び	7	6
社 協	25	14
合 計	84	53
H28実績	52	55

- ・出前講座・講師派遣による啓発回数が、平成28年度と比較して大幅に増加しており、住民の介護予防に関する意識が高まっていると考えられる。
- ・ただし、一部のセンターでは実施回数が少ない。圏域の町会数が少ないため依頼が少ないという地域もあるが、住民に対し広く啓発が行えていない地域もあると考えられることから、今後も出前講座メニューの啓発等を積極的に行う必要がある。

【包括的支援事業】総合相談支援業務

1 地域包括支援ネットワークの構築

(1) 地域包括支援ネットワーク構築機関数

(機関)

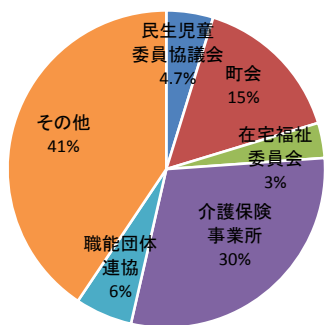
センター名	民児協 方面	町会	在宅福祉 委員会	介護保険 事業所	(再) 地域密着	職能団体 連携	その他	合計	その他の内訳
あ さ ひ	3	17	0	28	10	3	7	58	北海道教育大学函館校, 函館眼科検査会, 有限会社ウジヤト, 法テラス函館, 函館市社会福祉協議会, 成年後見センター, 市指導監査課
こ ん 中 央	4	17	3	26	25	4	55	109	函館駅前交番, 函館駅前郵便局, 有限会社ウイズ, 函館バス株式会社, 光プロジェクト株式会社, 株式会社大塚製薬工場, 株式会社明治, 株式会社モロオ, 社会福祉法人鴻寿会, イトウ電気商会, 株式会社創生事業団, 王将寿司, 函館朝市協同組合連合会, 函館朝市まちづくりの会事務局, ふらっとDaimon, 北海道国際交流センター, 更生保護施設巴寮, NPO法人グリーンサービス, 千歳ふまねっとサークル, 認知症の人を支える会, 救護施設明和園, 松陰母子ホーム, 高砂母子ホーム, そよかぜ家族会, 平山医院, 小笹内科医院, なるかわ病院, 柳川内科胃腸科, たけだクリニック, 金堀小学校, 高盛小学校, 中部小学校, 北星小学校, 中島小学校PTA, 的場中学校PTA, 函館共愛会中央認定こども園, 法テラス函館, 地域福祉コーディネーター, 相談支援センター一条, 函館少年刑務所, 函館市社会福祉協議会, 函館市医療・介護連携支援センター, 函館公共職業安定所, 母子家庭就業・自立支援センター, 市生活支援課, 市亀田福祉課, 子育て支援課, 市議3名, 渡島社会福祉課, 道社協自立相談支援センターおしま, 北斗市社会福祉課, 子ども・子育て支援課, 七飯町子育て健康支援課
と き と う	4	6	3	19	17	2	25	59	地域緑化アドバイザー, ユニ・チャーム(株), 鴻寿会グループ, 大塚製薬株式会社, (株)フレアコンサルティング, 北陸銀行五稜郭支店, 花王プロフェッショナルサービス株式会社, 三和防災, GHまつかげ家族会, 新都市五稜郭協議会, 函館時任郵便局, なるかわ病院, 渡辺病院, 大谷幼稚園, 千代田小学校, 千代ヶ丘小学校, 柏野小学校, 亀田中学校, 大野農業高等学校, 函館中部高校, 函館中部高校野球部, 函館大妻高校, 救護施設明和園, 的場消防, 函館市社会福祉協議会
ゆ の か わ	3	9	2	21	14	4	24	63	湯川寺, デザインエル, ベストケアサービス, 有限会社ウイズ, アイン薬局, 川原町親和会, 函館五稜郭病院, ななえ新病院, 養護老人ホーム永楽荘, 救護施設高丘寮, ケアハウスペイアニス, ケアハウス豊壽, 北日吉小学校, 日吉ヶ丘小学校, 湯川小学校, 深堀小学校, 湯川中学校, 函館有斗高校, 北日吉小学校PTA, 深堀小学校PTA, 深堀中学校PTA, 法テラス函館, 成年後見センター, 函館市社会福祉協議会
た か お か	2	12	5	8	8	6	19	52	行政書士松田稔法律事務所, (株)おせっかい, 脳外傷友の会コロポックル道南支部, NPO法人日本サハリン教会, 社会福祉法人心侘会, 救護施設共働宿泊所, 道南障害者就労・生活支援センター, 住宅型有料老人ホームてまり, 石崎小学校, 東小学校, 函館大学, 函館臨床専門学校, 法テラス函館, 函館少年刑務所, 成年後見センター, 函館市社会福祉協議会, 地域福祉コーディネーター, 北海道地域生活定着支援センター, 市指導監査課
西 堀	2	7	2	23	10	3	29	66	むつみ会, なかよし会, 鍛冶交番, 函館大谷短期大学付属認定こども園, 鍛神小学校, 大妻高等学校, 函館大学, なるかわ病院, 渡辺病院, 五稜郭メンタルクリニック, 高橋病院, 函館中央病院, 富田病院, 函館協会病院, 国立函館機構函館病院, アサヒ調剤薬局鍛冶支店, 松前病院, しらかば薬局, サンセイ中央薬局, ら・ぼると精神保健福祉事務所, トータスホーム, クリアコート結, 函館保護観察所, 函館地方検察庁, 函館市社会福祉協議会, 成年後見センター, 渡島健康推進課, 地域生活定着支援札幌センター
亀 田	6	5	3	31	23	4	23	72	(有)ベストケアサービス, 平和興産株式会社, コミュニティカフエ家族, ライフデザイン株式会社, サービス付高齢者向け住宅ライフシップ石川, エテルナほくおう, はのん, NPO法人スプリングボードユニティ21, 石川郵便局, おおむら整形外科病院, 渡辺病院, なるかわ病院, ら・ぼると, 侑愛会障がい者グループホーム, 北美原小学校, 桔梗小学校, 柏陵高校, 北海道教育大学函館校, 北昭和小学校PTA, 地域福祉コーディネーター, 函館市社会福祉協議会, 成年後見センター, 市地域福祉課
神 山	2	7	3	7	7	4	29	52	鍛冶交番, 救護施設高丘寮, (株)かがやきクリアコート結, ユマピアボート(株)新川, 相談支援センター一条, 障害者生活支援センターばすてる, 渡島檜山圏域障害者総合支援センターめい, 相談支援センターエブリデイ, 更生保護法人函館創生会, あすなろ相談支援センター, グループホームのえる, 木古内町障害者指定相談支援事業所, 相談支援事業所ひかり, 富田病院, 函館中央病院, 函館渡辺病院, 函館新都市病院, 函館脳神経外科, 函館医師会病院, 国立函館病院, 西堀病院リハビリ課, 南本通小学校, 南本通小学校PTA, 函館少年刑務所, 成年後見センター, 市交通課, 北斗市役所, せたな町役場, 北海道地域定着支援センター
よ ろ こ び	2	9	1	22	18	3	20	57	老人クラブ桔梗松葉会, 老人クラブ桔梗北壽会, 老人クラブマスターズ桔梗, 有限会社ウイズ, 宝皇寺(寺子屋ききょう), ゆあさ社会福祉士事務所, 住宅型有料老人ホームききょう, 函館少年刑務所, 函館地区保護司会, 函館西更生保護女性会, 桔梗保育園, 万年橋小学校, 港小学校, 桔梗小学校, 桔梗小学校PTA, 桔梗中学校, 北消防署, 地域福祉コーディネーター, 函館市社会福祉協議会, 成年後見センター
社 協	4	15	2	14	8	6	41	82	市立函館恵山病院, 市立函館南茅部病院, 杉山クリニック, 榎法華クリニック, 皆川調剤薬局, レインボー薬局戸井店, さくら薬局南茅部店, 社会福祉法人恵山恵愛会, 社会福祉法人みなみかやべ荘, 函館少年刑務所, 南茅部駐在所, 地域福祉コーディネーター, サービス付き高齢者住宅はこだてつ潮, 戸井幼稚園, 戸井西小学校, 榎法華小学校, 日新小学校, 臼尻小学校, 大船小学校, 恵山小学校, 榎法華中学校, 潮光中学校, 尾札部中学校, 臼尻中学校, 恵山中学校, 函館大学, 戸井西小学校PTA, 榎法華中学校PTA, 法テラス函館, 函館弁護士会, 函館市社会福祉協議会, 函館市社会福祉協議会南茅部支所, 函館市社会福祉協議会榎法華支所, 成年後見センター, 東消防署日ノ浜出張所, 市東部保健事務所, 市戸井支所市民福祉課, 市恵山支所市民福祉課, 市南茅部支所市民福祉課, 市榎法華支所市民福祉課, 市地域福祉課
合 計	32	104	24	199	140	39	272	670	

(2) 地域包括支援ネットワーク構築数 (回)

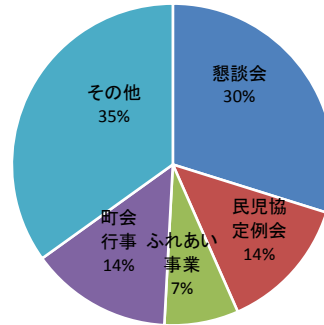
センター名	懇談会	民児協 定例会	町会 行事	ふれあい 事業	その他	合計
あさひ	7	0	2	0	2	11
こん中央	7	11	7	0	18	43
ときとう	6	17	6	4	6	39
ゆのかわ	7	0	0	4	1	12
たかおか	11	0	4	0	1	16
西堀	17	1	4	0	12	34
亀田	8	0	11	7	2	28
神山	9	1	5	0	5	20
よろこび	5	2	3	2	9	21
社協	11	8	0	5	47	71
合計	88	40	42	22	103	295
H28実績	85	52	42	20	88	287

- ・民生児童委員協議会のすべての方面（30/30方面）、半数以上の町会（104/183町会）とネットワークが構築できたが、在宅福祉委員会については、20%（24/124委員会）にとどまった。センターが代表者の連絡先を把握できないことから、出前講座の依頼等何らかの活動でつながりができない限り、ネットワークを構築することが難しい現状にあるためと考えられる。平成29年度は在宅福祉委員会を所管する社会福祉協議会と市の意見交換を実施したが、さらに、センターが在宅福祉委員会とつながる仕組みづくりを進める必要がある。
- ・その他の機関では、いずれのセンターでも、学校、障がいサービス事業所、医療機関、薬局が多かった。
- ・各センター、様々な機会を活用し、地域の関係機関とのネットワーク構築を行っており、保健・福祉・医療に関する機関からの相談件数が増加するという効果も表れている。一方で、民生委員、町会、在宅福祉委員からの相談件数は減少している。本人や家族から、「民生委員からセンターへの相談を勧められた。」と相談が入ることもあり、一概に民生委員等とのネットワークが不十分とは評価できない。しかし、早期発見・早期介入のためには、地域の支援者からの相談件数の増加が重要になることから、平成30年度は、センターの運営方針にも位置づけており、在宅福祉委員とのネットワーク構築を強化する必要があると考えられる。

ネットワーク構築機関内訳



ネットワーク構築方法内訳



(参考)

①地域密着型サービス事業所運営推進会議

(件・回)

センター名	事業所数	参加回数
あさひ	11	28
こん中央	18	38
ときとう	17	46
ゆのかわ	21	53
たかおか	8	24
西堀	11	39
亀田	19	53
神山	11	26
よろこび	20	38
社協	8	21
合計	144	366
H28実績	129	398

②地域ケア会議の参集者(関係分抜粋)

(回)

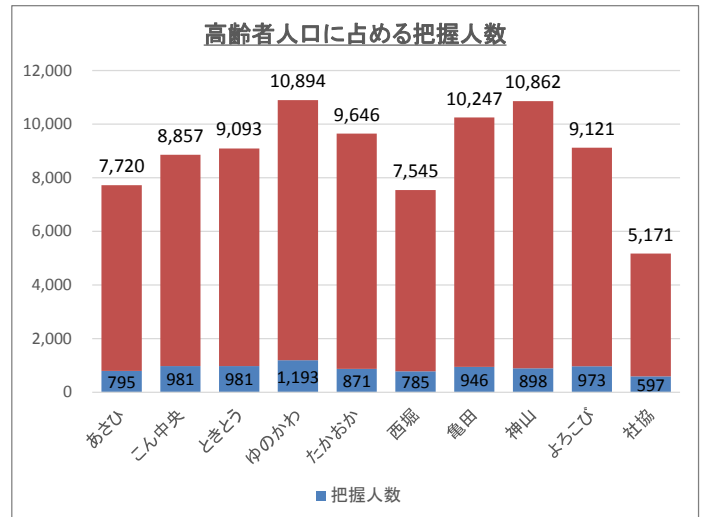
センター名	開催回数	民生委員	町会役員	在宅福祉
あさひ	9	6	35	12
こん中央	9	14	17	23
ときとう	9	16	16	6
ゆのかわ	13	1	73	1
たかおか	10	37	45	13
西堀	7	11	17	1
亀田	10	36	1	16
神山	13	21	16	1
よろこび	10	14	20	4
社協	6	8	1	0
合計	96	164	241	77
H28実績	89	211	265	49

2 実態把握

(1) 実態把握数の推移と高齢者人口に対する実態把握実施率

(人)

センター名	高齢者人口 (H30.3末)	把握人数	把握率
あさひ	7,720	795	10.3%
こん中央	8,857	981	11.1%
ときとう	9,093	981	10.8%
ゆのかわ	10,894	1,193	11.0%
たかおか	9,646	871	9.0%
西堀	7,545	785	10.4%
亀田	10,247	946	9.2%
神山	10,862	898	8.3%
よろこび	9,121	973	10.7%
社協	5,171	597	11.5%
合計	89,156	9,020	10.1%
H28実績	88,064	9,616	10.9%



(2) 項目別内訳

(人)

センター名	平成29年度実態把握数(A)				介護予防支援事業 (B/A)	地域支援事業 (C+D+E/A)	再掲:その他 (E/A)	計画数値に対する達成率		
	予防 (B)	見守り (C)	モニタリング (D)	その他 (E)				計画数値	達成率	
あさひ	795	354	17	16	408	44.5%	55.5%	51.3%	837	95.0%
こん中央	981	471	17	7	486	48.0%	52.0%	49.5%	964	101.8%
ときとう	981	465	30	9	477	47.4%	52.6%	48.6%	995	98.6%
ゆのかわ	1,193	609	61	14	509	51.0%	49.0%	42.7%	1,177	101.4%
たかおか	871	342	51	14	464	39.3%	60.7%	53.3%	1,063	81.9%
西堀	785	351	46	17	371	44.7%	55.3%	47.3%	823	95.4%
亀田	946	409	22	10	505	43.2%	56.8%	53.4%	1,107	85.5%
神山	898	422	9	12	455	47.0%	53.0%	50.7%	1,163	77.2%
よろこび	973	377	12	10	574	38.7%	61.3%	59.0%	981	99.2%
社協	597	66	19	179	333	11.1%	88.9%	55.8%	559	106.8%
合計	9,020	3,866	284	288	4,582					
構成割合	100.0%	42.9%	3.1%	3.2%	50.8%	42.9%	57.1%	50.8%	9,669	93.3%
H28実績	9,616	3,849	1,196	240	4,331					
構成割合	100.0%	40.0%	12.4%	2.5%	45.0%	40.0%	60.0%	45.0%	9,387	102.4%

・平成28年度と比較し、実態把握数、実態把握率ともに減少しており、7センターが計画数値を達成できなかった。平成29年度は、見守りネットワーク事業の実態把握が1クールしか行われなかったためと考えられる。その他の把握数は増加しており、総合相談で対応した高齢者の実態把握は、積極的に行なえたと評価できる。

3 総合相談

(1) 相談総合相談対応件数

(件)

センター名	対象者 実件数	相談 延件数
あ さ ひ	762	1,030
こ ん 中 央	1,382	1,494
と き と う	1,045	1,396
ゆ の か わ	1,806	2,401
た か お か	1,332	1,735
西 堀	690	852
亀 田	894	1,250
神 山	1,052	1,243
よ ろ こ び	1,592	1,970
社 協	860	1,192
合 計	11,415	14,563
H 2 8 実 績	13,965	17,876

(2) 相談形態内訳(延)

(件)

センター名	来所	電話	訪問	その他
あ さ ひ	55	192	776	7
こ ん 中 央	67	518	894	15
と き と う	76	576	708	36
ゆ の か わ	60	820	1,481	40
た か お か	72	584	1,057	22
西 堀	114	413	317	8
亀 田	77	435	704	34
神 山	49	641	525	28
よ ろ こ び	46	373	1,545	6
社 協	22	434	735	1
合 計	638	4,986	8,742	197
H 2 8 実 績	1,078	5,021	11,548	229

(3) 相談者の続柄内訳(重複あり)

(件)

センター名	本人	家族 親族	民生委員	町会 在宅福祉	知人 近隣	CM	介護保険 事業所	医療機関	行政機関	その他
あ さ ひ	785	378	27	6	20	107	125	69	50	10
こ ん 中 央	618	323	33	14	27	296	17	108	102	22
と き と う	601	331	79	20	27	128	27	105	64	15
ゆ の か わ	1,621	860	22	17	32	567	245	130	42	41
た か お か	1,191	735	24	6	34	283	248	99	49	26
西 堀	420	436	17	2	2	85	29	64	14	20
亀 田	540	416	26	7	12	120	38	82	27	27
神 山	659	571	25	8	27	160	113	109	65	36
よ ろ こ び	1,533	553	29	2	17	202	42	83	50	29
社 協	813	131	25	1	4	33	12	35	40	98
合 計	8,781	4,734	307	83	202	1,981	896	884	503	324
H 2 8 実 績	11,522	5,779	409				3,213			1,492

(4) 相談内容内訳(重複あり)

(件)

センター名	介護保険 総合事業	保健福祉 サービス	介護予防	健康	認知症	住まい	権利擁護	その他
あ さ ひ	623	95	10	20	14	41	5	200
こ ん 中 央	1,228	179	9	37	100	134	34	31
と き と う	784	253	70	34	90	81	34	50
ゆ の か わ	1,738	174	66	35	83	63	19	367
た か お か	1,315	88	54	54	47	109	10	263
西 堀	667	78	4	14	27	32	6	78
亀 田	780	152	57	24	78	60	17	169
神 山	847	209	31	7	19	31	3	119
よ ろ こ び	996	115	705	26	48	39	6	118
社 協	389	669	118	20	25	13	5	56
合 計	9,367	2,012	1,124	271	531	603	139	1,451
H 2 8 実 績	11,761	3,055		523				3,427

・相談件数は、平成28年度と比較して20%減少している。8センターで減少したが、計上方法の見直しや見守りネットワーク事業の実施状況が影響していると考えられる。

・相談形態内訳をみると、来所、訪問による対応件数が減少している。

・相談者内訳をみると、本人、家族・親族からの相談が減少しているが、保健・福祉・医療の関係機関からの相談は増加している。

・相談内容内訳をみると、介護保険・総合事業に関する相談が減少している。

・上記のことから、高齢者の相談窓口として、センターの役割が地域住民へ十分認知されていないと考えられるため、センターおよび市が協働し、周知を積極的に行う必要がある。

4 保健福祉サービス等利用調整

(1) 利用調整件数の推移

(件)

センター名	調整数	(再)除排雪
あさひ	282	227
こん中央	203	178
ときとう	282	292
ゆのかわ	325	265
たかおか	184	127
西堀	173	177
亀田	483	412
神山	321	306
よろこび	159	206
社協	477	162
合計	2,889	2,352
H28実績	1,963	812

(2) モニタリング実施状況

(件)

センター名	対象者数	実施数	実施率
あさひ	25	25	100.0%
こん中央	25	25	100.0%
ときとう	27	25	92.6%
ゆのかわ	36	36	100.0%
たかおか	22	22	100.0%
西堀	20	20	100.0%
亀田	15	15	100.0%
神山	19	19	100.0%
よろこび	15	15	100.0%
社協	79	73	92.4%
合計	283	275	97.2%
H28実績	417	417	100.0%

- ・利用調整数は、平成28年度と比較して大幅に増加している。降雪量が多く、除排雪サービスの利用調整数が3倍に増加したためと考えられる。
- ・モニタリング実施状況は、平成28年度と比較して減少している。要因としては、市町村合併により平成17年度の緊急通報システムの設置台数が他の年度と比較して多かったため、当該年度の設置者がモニタリングの対象となる平成28年度に一時的にモニタリング実施数が増加したことが考えられる。

5 住民に対する広報・啓発活動

(1) 住民に対する広報・啓発回数

(回)

センター名	広報紙の発行	パンフレット等の配布	出前講座講師派遣	認知症サポーター養成講座
あさひ	2	8	23	3
こん中央	3	1	9	7
ときとう	2	21	13	9
ゆのかわ	2	9	26	5
たかおか	2	5	18	6
西堀	3	10	3	2
亀田	3	8	24	5
神山	3	12	10	4
よろこび	2	6	9	3
社協	2	22	42	1
合計	24	102	177	45
H28実績	25	149	139	44

(2) 総合相談にかかる広報・啓発回数

(回)

センター名	センター業務	介護保険制度	保健福祉サービス	認知症
あさひ	17	6	7	15
こん中央	12	5	27	7
ときとう	21	6	21	27
ゆのかわ	23	17	3	11
たかおか	20	6	6	16
西堀	11	4	5	8
亀田	13	8	5	8
神山	17	4	3	7
よろこび	18	7	7	19
社協	65	24	63	5
合計	217	87	147	123
H28実績	197	83	68	105

- ・広報紙の発行について、発行回数の増減はないが、カラー印刷やイラストを用いるなど各センター工夫して作成しており、広報紙の質が向上していると評価できる。
- ・出前講座の開催回数や総合相談に係る広報・啓発回数は増加している。
- ・センターは、様々な機会を活用し積極的に広報・啓発をしているが、相談件数が減少していることから、対象者や啓発方法についての見直しやさらなる工夫が必要と考えられる。ただし、過去に広報した広報紙やパンフレット等をもて相談するケースも徐々に増加しており、広報・啓発の効果が表れるには時間を要するとも考えられる。

【包括的支援事業】権利擁護業務

1 権利擁護相談対応状況

(1) 権利擁護業務対応状況

① 権利擁護事例対応件数

(件)

センター名	対象者数		実対応回数		延対応回数※1		1件あたりの対応回数 実対応回数／対象者数			(参考) 権利擁護事例 に占める虐待事 例の割合
		(内) 虐待事例※2		(内) 虐待事例		(内) 虐待事例		(内) 虐待事例以外	(内) 虐待事例	
あさひ	39	7	546	146	566	150	14.0	12.5	20.9	17.9%
こん中央	59	9	620	194	641	213	10.5	8.5	21.6	15.3%
ときとう	30	3	206	21	233	22	6.9	6.9	7.0	10.0%
ゆのかわ	30	7	284	66	330	80	9.5	9.5	9.4	23.3%
たかおか	41	7	528	97	547	97	12.9	12.7	13.9	17.1%
西堀	41	7	340	145	358	164	8.3	5.7	20.7	17.1%
亀田	39	9	663	137	700	148	17.0	17.5	15.2	23.1%
神山	52	6	855	133	950	166	16.4	15.7	22.2	11.5%
よろこび	15	3	160	30	168	32	10.7	10.8	10.0	20.0%
社協	6	3	70	26	83	29	11.7	14.7	8.7	50.0%
合計	352	61	4,272	995	4,576	1,101	12.1	11.3	16.3	17.3%
H28実績	304	58	4,146	704	4,479	765	13.6	14.0	12.1	19.1%

※1 複数体制での対応を行った場合に、延対応回数へ計上している。

※2 高齢者虐待と判断した事例だけではなく、高齢者虐待疑いとして対応した事例も含む。

② 事案別内訳(重複あり)

(件)

センター名	虐待	セルフ ネグレクト	成年 後見等	消費者 被害	困難 事例	内訳(重複あり)														
						認知	知的	精神	拒否	ADL 低下	独居	家族 問題	サービス 依存	医療 問題	アル コール	薬物	経済 困窮	苦情	その他	上記 以外
あさひ	48	0	15	0	260	42	0	6	31	19	30	53	0	18	2	0	39	11	1	8
こん中央	48	3	10	1	377	57	0	50	29	16	34	73	0	23	8	0	55	15	13	4
ときとう	6	0	1	1	158	8	0	24	31	3	25	1	0	2	0	0	18	22	9	15
ゆのかわ	19	0	4	2	113	17	0	1	1	0	21	34	0	1	1	0	34	1	2	0
たかおか	25	0	20	1	284	74	5	24	6	14	39	65	0	10	4	0	14	1	18	10
西堀	28	0	24	0	278	50	0	20	13	3	53	48	0	23	10	0	40	1	11	6
亀田	17	0	32	3	286	85	0	6	13	9	53	51	0	13	8	0	26	9	3	10
神山	18	0	11	0	374	86	2	27	79	5	49	54	0	32	0	0	20	9	11	0
よろこび	9	0	0	0	163	18	0	13	25	0	24	35	0	5	12	0	13	3	15	0
社協	6	0	0	0	37	7	3	1	0	0	7	11	0	0	0	0	7	0	1	0
合計	224	3	117	8	2,330	444	10	172	228	69	335	425	0	127	45	0	266	72	84	53
H28実績	284	5	115	9	2,481	469	11	190	301	91	333	352	0	213	32	2	215	27	173	72

③相談・通報者内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	CM	サービス事業所	近隣住民知人	民生委員	本人	家族親族	行政	警察	医療機関	不明匿名	その他	その他の内容
あさひ	39	70	27	11	6	49	56	57	22	47	0	28	弁護士, 高齢者住宅情報プラザ, 虐待者
こん中央	59	64	14	15	8	20	39	34	14	26	0	22	社会保険事務所, 高齢者住宅情報プラザ, 虐待者
ときとう	30	5	1	2	6	1	5	23	1	3	0	15	法テラス, 他包括
ゆのかわ	30	4	2	1	2	22	31	1	2	21	0	6	他包括, コンビニ
たかおか	41	23	12	8	7	3	33	15	2	16	0	9	コンビニ, 消防, 郵便局, 障害相談事業所
西堀	41	9	8	10	0	16	8	7	9	20	0	10	他包括(担当センター変更のため)
亀田	39	47	10	13	35	14	23	14	3	16	0	14	大家, 運転免許試験場, 地主
神山	52	7	9	16	16	28	60	12	9	15	0	7	独立型社会福祉事務所, 町会長, 在宅福祉委員,
よろこび	15	15	17	3	0	16	6	38	3	0	0	9	消防, 市生活支援課
社協	6	4	0	0	0	2	7	2	0	1	0	0	
合計	352	248	100	79	80	171	268	203	65	165	0	120	
H28実績	304	182	86	93	102	165	233	186	62	154	0	131	

④医療機関とのネットワーク構築 (重複あり)

(件)

センター名	個別ケース支援連携数	連携・ネットワーク構築機関
あさひ	47	13
こん中央	16	8
ときとう	16	17
ゆのかわ	6	22
たかおか	23	19
西堀	31	40
亀田	17	35
神山	7	18
よろこび	4	13
社協	34	5
合計	201	190

(2) 高齢者虐待対応状況(再掲)

①虐待種別の内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	ネグレクト
あさひ	7	8	10	2	1	8
こん中央	9	16	13	0	4	0
ときとう	3	4	1	0	0	1
ゆのかわ	7	7	5	0	7	0
たかおか	7	10	15	0	0	0
西堀	7	12	5	0	11	5
亀田	8	10	4	0	1	2
神山	6	4	4	0	7	0
よろこび	3	8	0	0	1	0
社協	3	6	0	0	0	0
合計	60	85	57	2	32	16
H28実績	58	113	104	8	30	29

- ・平成28年度と比較し、対象者数・実対応回数・延対応回数は増加しており、特に、介護支援専門員や関係機関からの相談件数が増加している。ケアプラン指導研修のテーマに権利擁護業務を取り上げるセンターが多かったため、適切な相談・通報についての意識が高まったと評価できる。
- ・1件あたりの対応回数は減少している。ただし、虐待事例における1件あたりの対応回数は4.2回の増加となり、課題の複雑化や支援の困難さが増してきていると考えられる。
- ・権利擁護対象者数や実・延対応回数が平成28年度と比較し増加した中で、権利擁護事例に占める虐待事例の割合が1.8%減少しており、何らかの課題を抱え、虐待の発生リスクが高い状況にある世帯に対し、センターが早期に介入し必要な支援を行うことで、虐待行為の未然防止となっていると評価できる。

②虐待者の続柄、同居・別居状況内訳(重複あり)

(件)

センター名	虐待者の続柄										同居・別居						
	夫	妻	息子	娘	嫁	婿	孫	兄弟	他	(その他内容)	不明	虐待者 と同居	虐待者 他家族 と同居	別居	他	(その他内容)	不明
あさひ	2	0	5	0	0	0	0	12	2	縁故者	0	18	0	3	0		0
こん中央	7	8	6	1	0	0	0	0	0		0	20	0	0	2	虐待者の出稼ぎ就労にて一時的な別居	0
ときとう	0	0	4	0	0	0	0	0	0		0	3	0	0	1	高齢者の一時的な入院による別居	0
ゆのかわ	2	0	4	6	0	0	0	2	1	姪	0	13	0	1	0		0
たかおか	8	0	0	9	1	0	0	0	0		0	9	7	2	0		0
西堀	6	0	12	7	0	0	0	0	0		0	13	0	4	8	虐待対応前より入院中による別居	0
亀田	1	4	3	5	0	0	0	0	0		0	10	2	1	0		0
神山	0	0	6	0	0	0	0	0	0		0	2	0	4	0		0
よろこび	0	0	1	0	1	0	0	0	0		0	8	0	1	0		0
社協	2	0	2	2	0	0	0	0	0		0	6	0	0	0		0
合計	28	12	43	30	2	0	0	14	3		0	102	9	16	11		0
H28実績	33	13	83	16	1	0	5	0	4		1	100	17	36	0		3

③相談・通報者内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	CM	サービス 事業所	近隣 住民 知人	民生 委員	本人	家族 親族	行政	警察	医療 機関	不明 匿名	その他	その他の内容
あさひ	7	15	8	0	0	13	13	24	2	10	0	10	虐待者、法テラス、施設職員
こん中央	9	15	1	1	0	0	11	11	0	6	0	6	虐待者
ときとう	3	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	
ゆのかわ	7	2	1	0	0	0	4	1	1	8	0	1	他包括
たかおか	7	15	1	0	0	2	5	3	0	0	0	0	
西堀	7	0	7	0	0	5	0	2	8	10	0	0	
亀田	8	14	2	4	12	1	4	0	2	0	0	0	
神山	6	1	3	4	4	0	6	5	0	0	0	0	
よろこび	3	0	1	0	0	7	0	3	0	0	0	7	消防
社協	3	4	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	
合計	60	69	24	9	16	30	43	50	13	37	0	24	
H28実績	58	58	24	2	4	32	33	44	19	15	0	8	

- ・権利擁護における事案別内訳において、平成28年度と比較し虐待および困難事例が大きく減少しているが、各項目の件数においては増減にばらつきがある。
- ・権利擁護における相談・通報者内訳については平成28年度と同様の傾向を示している。
- ・高齢者虐待における種別、虐待者の続柄、同居別居状況、相談通報者についても平成28年度と同様の傾向を示している。
- ・権利擁護における相談・通報者は家族が一番多い事に対し、高齢者虐待における相談・通報者は介護支援専門員が一番多い。

2 スキルアップ対策

(1) 研修会や事例検討会の開催, 参加

(回)

センター名	高齢者虐待	困難事例	成年後見制度 消費者被害
あさひ	3	3	8
こん中央	5	4	6
ときとう	4	6	8
ゆのかわ	2	3	6
たかおか	1	4	6
西堀	3	2	6
亀田	4	3	11
神山	3	3	10
よろこび	4	2	6
社協	2	2	5
合計	31	32	72
H28実績	34	28	53

- ・研修会や事例検討会の開催, 参加については, 高齢者虐待や困難事例に大きな変動はないが, 成年後見制度・消費者被害の開催, 参加数が増加している。
- ・住民等に対する広報・啓発活動については, 高齢者虐待防止における広報紙・パンフレット配布数が増加しているが, 成年後見制度や消費者被害防止における出前講座・講師派遣は減少している。依頼機関から嫌煙されるテーマではあるが, 各センターで様々な機会を活用し, 積極的に広報・啓発を行っている。

3 住民等に対する広報・啓発活動

(回)

センター名	高齢者虐待防止		成年後見制度 消費者被害防止	
	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布
あさひ	4	3	2	4
こん中央	2	3	2	2
ときとう	2	3	3	2
ゆのかわ	6	3	4	3
たかおか	4	2	4	2
西堀	1	5	1	3
亀田	0	4	2	2
神山	1	4	2	8
よろこび	1	7	2	3
社協	3	17	7	16
合計	24	51	29	45
H28実績	27	24	49	45

【包括的支援事業】包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況

(1) ケアプラン指導研修(合同)事業実績

開催日時	開催場所	内容	参加者数
平成29年9月16日(土) 9:30~12:30	花びしホテル	講演:利用者理解を深めるために~利用者の話, 本当に聴けていますか? 講師:NPO法人 北海道総合福祉研究センター 理事長 五十嵐 教行 氏	201人
平成29年11月4日(土) 9:30~12:00	函館大学	講演:動き始めた地域包括ケア キーパーソンとしての介護支援専門員 講師:北海道教育大学函館校 准教授 齋藤 征人 氏	162人

(2) ケアプラン指導研修(圏域)事業実績

センター名	開催日時	開催場所	内容	参加者数	参加事業所数
あさひ	平成30年1月11日	総合在宅ケアセンター あさひ	事例検討会 これって虐待? 事例を通じて考えよう	34人	12事業所
こん中央	平成29年4月20日(※)	ベルクラシック	懇談会 これって虐待?	18人	17事業所
	平成29年6月23日	特別養護老人ホーム 松濤	事例検討会 高齢者虐待と精神疾患のある子を含めた家族支援について	23人	5事業所
	平成30年2月16日(※)	明和園	懇談会 総合事業・介護予防ケアマネジメントについて	53人	16事業所
	平成30年3月13日	特別養護老人ホーム 松濤	事例検討会 支援拒否をする人への多職種の関わり	14人	6事業所
ときとう	平成29年4月20日(※)	ベルクラシック	懇談会 これって虐待?	18人	17事業所
	平成29年8月9日	コミュニティーホールこん	懇談会 ゴミ屋敷をどう支援するか	31人	17事業所
	平成29年11月15日	Gスクエア	事例検討会 認知症夫婦の在宅生活をどこまで支えられるか	9人	7事業所
	平成30年2月16日(※)	明和園	事例検討会 総合事業・介護予防ケアマネジメントについて	53人	16事業所
ゆのかわ	平成30年1月26日(※)	函館アリーナ	事例検討会 過剰な支援から本人の自立した生活への転機へ向けて	29人	20事業所
たかおか	平成30年1月26日(※)	函館アリーナ	事例検討会 過剰な支援から本人の自立した生活への転機へ向けて	29人	20事業所
西堀	平成29年9月11日	西堀病院	研修会 医療保険による薬剤管理指導, 介護保険による居宅療養管理指導について	20人	8事業所
	平成29年12月12日	西堀病院	事例検討会 高次機能障害の症状と対応方法について	15人	7事業所

(※)他センターとの合同開催

センター名	開催日時	開催場所	内容	参加者数	参加事業所数
亀田	平成29年6月30日(※)	亀田病院	懇談会 総合事業についての研修会	82人	31事業所
	平成29年10月11日	亀田病院	事例検討会 多職種連携・困難ケースへの協働支援	36人	14事業所
	平成30年3月22日	亀田病院	その他(事例研修会) 虐待のサインを見逃さないために	30人	12事業所
神山	平成30年2月23日	地域包括支援センター 神山	事例検討会 息子から虐待を受け成年後見制度につなげた事例	11人	4事業所
よろこび	平成29年6月30日(※)	亀田病院	懇談会 総合事業についての研修会	82人	31事業所
	平成30年2月1日	デイサービスハートTO ハート北浜	懇談会 ケアプランに活かせる個別ケア会議の流れ	50人	23事業所
社協	平成30年1月30日	社協戸井支所	事例検討・その他 認知症初期集中支援推進事業の概要について 独居で身体状況悪化により在宅生活の限界と思われるが、息子との同居などを拒否する方への支援について	7人	5事業所

(※)他センターとの合同開催

(3) 計画数値の達成率

(回)

	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西堀	亀田	神山	よろこび	社協	合計
実施回数	3	6	6	3	3	4	5	3	4	3	40
計画数値	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
計画数値 達成率	100.0%	200.0%	200.0%	100.0%	100.0%	133.3%	166.7%	100.0%	133.3%	100.0%	133.3%

- ・実施回数は、平成28年度とほぼ同様で、全センター計画数値以上の実施となった。
- ・合同ケアプラン指導研修の参加者数は、平成28年度と同程度だった。
- ・圏域のケアプラン指導研修は、高齢者虐待や総合事業についての研修や困難事例についての事例検討が多く行われた。延参加事業所数は、平成28年度の261事業所から204事業所へ減少した。要因としては、複数の圏域での合同開催が少ないためと考えられるが、意図的に少人数で事例検討や懇談を行ったセンターもあり、介護支援専門員同士のネットワーク構築の効果も表れている。
- ・合同ケアプラン指導研修の企画は、主任介護支援専門員部会で実施してきたが、日頃の介護支援専門員への支援等で把握した課題やニーズを十分活かせていないと考えられる。平成30年度は、センターと市で状況把握や課題の分析を実施した上で研修企画を行い、より効果的な研修の開催を目指す必要がある。

2 介護支援専門員への個別支援

(1) 対応状況

(人・回)

センター名	対象者数 (延)	対応回数(実)							終結率(実)	
		来所	電話	訪問	担当者 会議等	ケア 会議	その他	合計	終結した 対象者数	終結率
あさひ	14	13	15	13	1	0	2	44	14	100.0%
こん中央	18	4	49	27	7	0	2	89	15	83.3%
ときとう	6	1	10	2	1	0	3	17	3	50.0%
ゆのかわ	13	4	53	14	3	0	2	76	10	76.9%
たかおか	17	18	117	51	6	2	13	207	15	88.2%
西堀	5	1	17	2	2	0	0	22	4	80.0%
亀田	8	1	29	6	4	0	0	40	6	75.0%
神山	10	2	44	5	6	0	2	59	4	40.0%
よろこび	12	6	19	10	1	0	1	37	11	91.7%
社協	1	1	45	2	5	0	4	57	0	0.0%
合計	104	51	398	132	36	2	29	648	82	78.8%
H28実績	93	115	316	72	35		30	568	76	81.7%

(再掲)

(回)

センター名	ケアマネへの対応回数(実)							対象者本人への対応回数(実)				
	来所	電話	訪問	担当者 会議等	ケア 会議	その他	合計	来所	電話	訪問	その他	合計
あさひ	11	12	8	1	0	1	33	2	3	5	1	11
こん中央	2	34	16	7	0	0	59	2	15	11	2	30
ときとう	0	7	1	1	0	1	10	1	3	1	2	7
ゆのかわ	4	38	5	3	0	2	52	0	15	9	0	24
たかおか	15	76	18	6	2	9	126	3	41	33	4	81
西堀	1	14	0	2	0	0	17	0	3	2	0	5
亀田	1	20	3	4	0	0	28	0	9	3	0	12
神山	1	25	2	6	0	2	36	1	19	3	0	23
よろこび	6	14	5	1	0	1	27	0	5	5	0	10
社協	1	12	2	5	0	4	24	0	33	0	0	33
合計	42	252	60	36	2	20	412	9	146	72	9	236

- ・対象者数、対応回数は、平成28年度と比べて増加している。対応方法については、電話と訪問による支援が増加していたが、来所による支援は減少している。
- ・個別支援としては計上していないが、介護支援専門員からの軽微な問い合わせや相談が増加しているセンターもある。

(2) 支援内容(重複あり・実対応回数)

(回)

センター名	対象者数	情報提供					支援方針助言	計画作成助言	地域とのつながり	ケアマネ変更支援	その他	合計
		介護保険	その他制度	社会資源	その他							
あさひ	14	5	0	3	3	0	18	0	0	2	0	25
こん中央	18	4	1	1	0	2	22	2	3	10	1	42
ときとう	6	0	0	0	0	0	5	0	1	2	0	8
ゆのかわ	13	5	3	3	2	1	16	1	1	5	0	28
たかおか	17	5	1	2	0	3	25	0	12	17	14	73
西堀	5	2	0	1	2	0	3	0	0	3	0	8
亀田	8	2	1	2	0	1	6	0	0	4	2	14
神山	10	3	1	1	0	2	4	1	5	2	4	19
よろこび	12	1	1	0	0	1	14	0	0	3	1	19
社協	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	6
合計	104	27	8	13	7	10	116	4	22	48	25	242
H28実績	93	36	19	8	12	10	95	2	—	36	42	211

- ・支援内容は、支援方針の指導・助言が最も多く、次いで介護支援専門員の変更支援、情報提供、地域と介護支援専門員がつながるための支援が多かった。
- ・地域ケア全体会議でも、「地域の支援者と介護支援専門員がつながる仕組みづくり」に取り組んでおり、介護支援専門員への個別支援においても地域とつながる支援を意識的に行う必要があると考えられる。

(3) 相談者(実数)

(人)

センター名	対象者数	CM	対象者本人	対象者家族	行政	部署	その他	内訳
あさひ	14	7	3	3	0		1	担当外の介護支援専門員
こん中央	18	13	0	2	1	生活支援課	2	施設職員, 在宅福祉委員
ときとう	6	4	1	0	1	高齢福祉課	2	サービス事業所
ゆのかわ	13	5	2	3	0		3	担当外の介護支援専門員, 病院相談員
たかおか	17	11	2	4	0		1	コンビニ店員
西堀	5	3	2	0	0		0	
亀田	8	6	0	1	0		1	サービス事業所
神山	10	6	0	1	0		3	民生委員, 在宅福祉委員
よろこび	12	7	2	2	0		1	なし(包括の判断)
社協	1	0	0	1	0		0	
合計	104	62	12	17	2		14	
H28実績	93	61	12	9	4		6	

- ・相談者は、介護支援専門員、対象者家族、対象者本人の順に多かった。平成28年度に比べ、対象者家族やその他の機関からの相談が増加しており、介護支援専門員からの相談を待つだけでなく、総合相談等の業務においても、介護支援専門員への支援の必要性を判断し、対応できていると評価できる。

(4) 対象者の概要

①対象者本人の状況(実数)

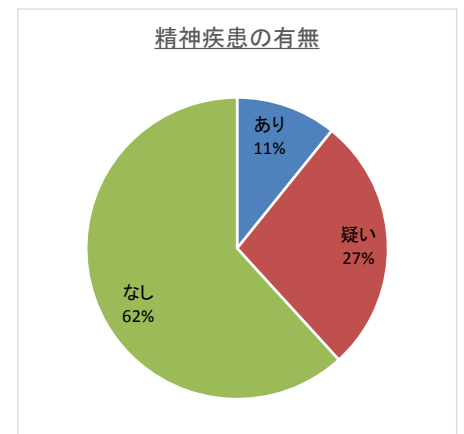
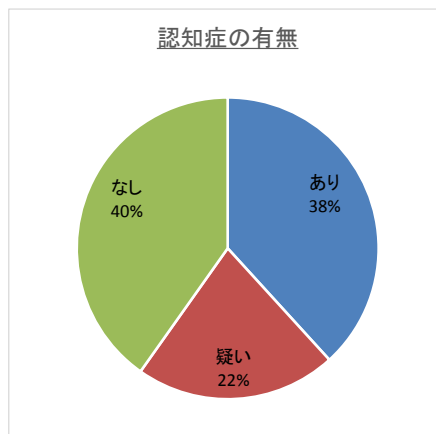
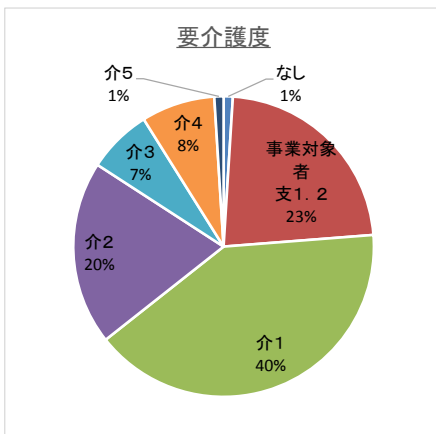
(人)

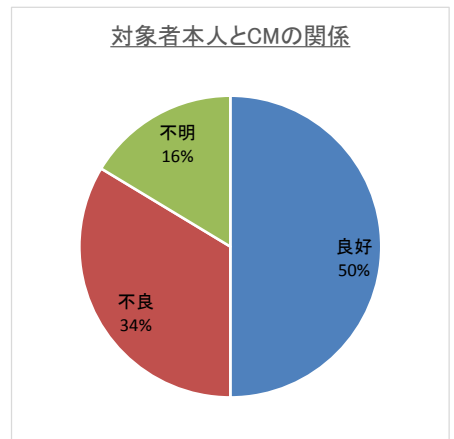
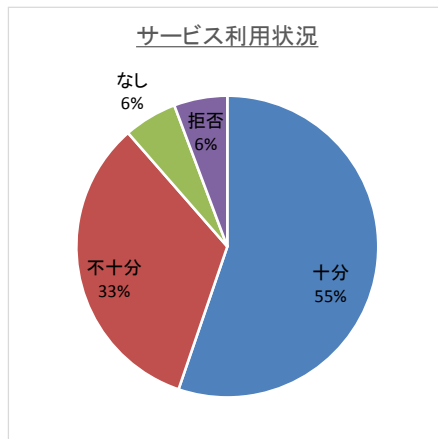
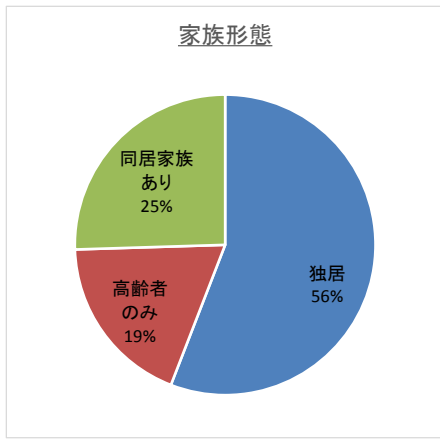
センター名	対象者数	要介護度									認知症			精神疾患		
		なし	事業対象者	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	あり	疑い	なし	あり	疑い	なし
あさひ	14	0	0	1	1	3	8	1	0	0	7	0	7	5	0	9
こん中央	18	0	1	1	4	10	0	0	1	1	8	7	3	3	7	8
ときとう	6	0	0	0	0	2	2	1	1	0	3	1	2	0	3	3
ゆのかわ	13	0	0	0	2	7	1	1	2	0	6	4	3	1	4	8
たかおか	17	0	0	2	2	6	4	1	2	0	3	3	11	1	5	11
西堀	5	0	0	0	2	1	1	0	0	0	1	0	4	0	1	4
亀田	8	0	0	0	2	0	4	1	1	0	1	4	3	1	4	3
神山	10	1	0	0	1	5	2	1	0	0	6	2	2	1	3	6
よろこび	12	0	0	2	2	6	0	1	1	0	3	2	7	0	1	11
社協	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
合計	104	1	1	6	16	41	22	7	8	1	39	23	42	12	29	63
H28実績	93	1	-	11	9	37	13	10	8	3	35	27	30	16	29	47

②支援状況(延数)

(人)

センター名	対象者数	家族形態						サービス利用状況				CMとの関係		
		独居		高齢者のみ		同居家族あり		あり		なし	拒否	良好	不良	不明
		支援者あり	支援者なし	支援者あり	支援者なし	支援者あり	支援者なし	十分	不十分					
あさひ	14	8	0	4	0	1	0	10	4	0	0	10	4	0
こん中央	18	6	7	2	0	3	0	4	11	0	4	13	3	2
ときとう	6	1	0	1	3	1	0	3	3	0	0	2	3	1
ゆのかわ	13	4	4	3	0	2	0	7	5	1	0	5	5	3
たかおか	17	5	4	0	1	5	2	11	3	2	1	5	9	3
西堀	5	2	1	0	0	1	0	4	1	0	0	2	2	1
亀田	8	5	1	0	0	2	0	4	4	0	0	3	4	1
神山	10	3	0	1	3	3	0	7	2	0	1	8	1	1
よろこび	12	4	2	1	0	5	0	8	2	2	0	3	4	5
社協	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0
合計	104	38	19	12	7	24	2	58	35	6	6	52	35	17
H28実績	93	25	21	14	7	20	5	51	30	5	6	45	32	15





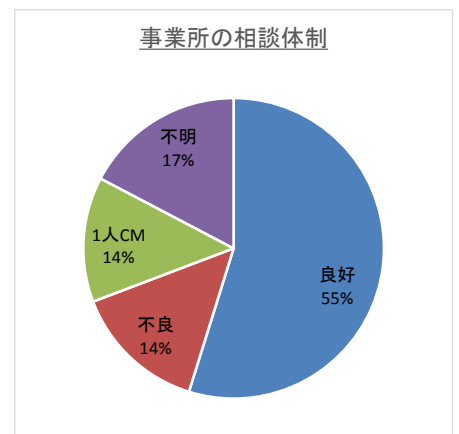
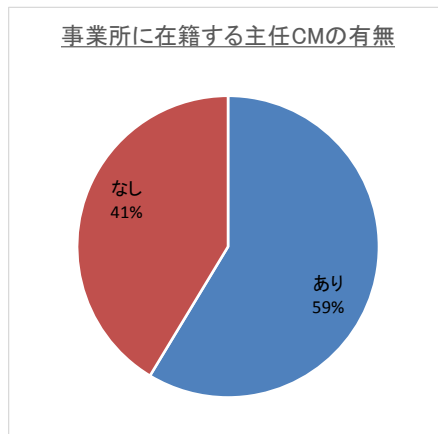
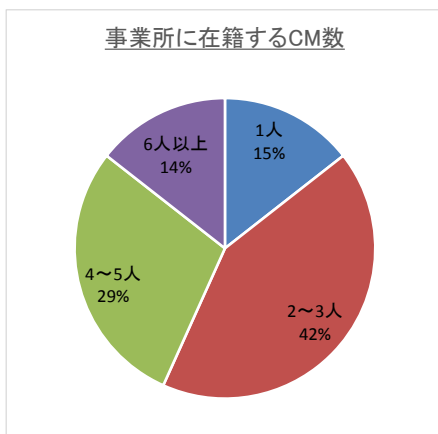
- 対象者本人の要介護度は、平成28年度と同様要介護1が40%と最も多く、次いで事業対象者・要支援者が23%、要介護2が20%となった。60%が認知症（疑いを含む）を、40%が精神疾患（疑いを含む）を抱えており、ADLの低下だけでなく、認知機能の低下や精神症状を抱えながら在宅生活を継続しているケースへの支援において、介護支援専門員の支援の困難性が高まると考えられる。
- 対象者本人の家族形態は、独居と高齢者のみ世帯で75%を占めており、家族による介護が十分受けられないケースで介護支援専門員の支援の困難性が高まると考えられる。また、半数以上が、十分なサービスを利用しており、サービス調整以外の部分で困難性を抱えるケースも多いと考えられる。

(5) 事業所および介護支援専門員の概要

①事業所の状況(延数)

(人)

センター名	対象者数	CMの人数				主任CMの有無		事業所の相談体制			
		1人	2~3人	4~5人	6人以上	あり	なし	良好	不良	1人CM	不明
あさひ	14	0	6	3	5	6	8	11	1	0	2
こん中央	18	1	11	5	1	12	6	8	10	0	0
ときとう	6	0	5	1	0	4	2	0	1	0	5
ゆのかわ	13	6	3	2	2	6	7	7	0	6	0
たかおか	17	4	5	7	1	11	6	8	2	4	3
西堀	5	0	2	2	1	3	2	2	1	0	2
亀田	8	0	4	1	3	8	0	6	0	0	2
神山	10	0	5	3	2	7	3	8	0	0	2
よろこび	12	3	3	6	0	4	8	7	0	3	2
社協	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
合計	104	15	44	30	15	61	43	57	15	14	18
H28実績	93	16	39	21	16	48	44	51	4	19	18

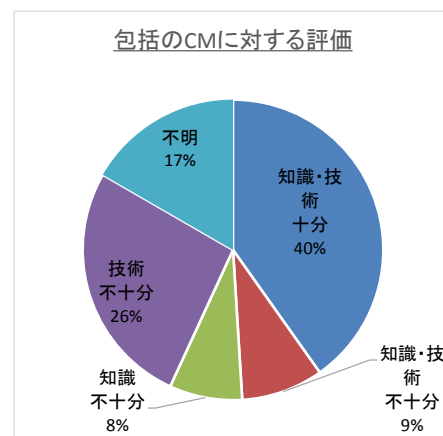
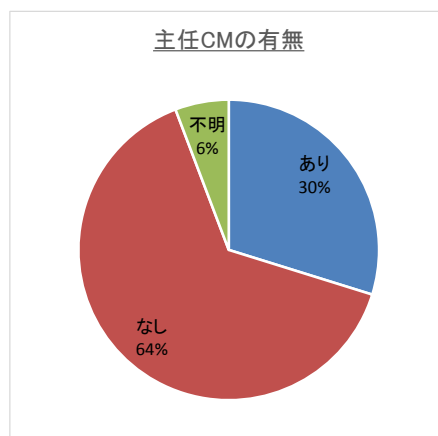
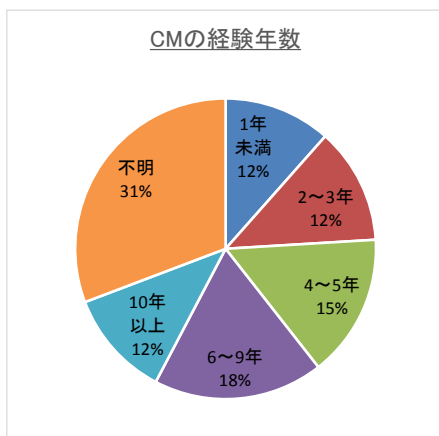


- 支援をした介護支援専門員が所属する事業所は、3人以下の小規模な事業所が全体の半数以上を占めた。大規模の事業所に比べ、事業所内に主任介護支援専門員がいなかったり、相談体制が十分ではない可能性が高く、センターによる支援を必要とするケースが多いと考えられる。

②介護支援専門員の状況(延数)

(人)

センター名	対象者数	CMの経験年数						主任CMの有無			包括の評価(重複あり)			
		1年未満	2~3年	4~5年	6~9年	10年以上	不明	あり	なし	不明	十分	知識不十分	技術不十分	不明
あさひ	14	1	2	5	4	0	2	4	10	0	9	2	4	1
こん中央	18	1	1	0	1	1	14	4	10	4	5	2	10	3
ときとう	6	0	0	1	0	3	2	3	3	0	5	1	0	0
ゆのかわ	13	2	6	0	3	2	0	1	11	1	1	3	6	3
たかおか	17	4	0	4	7	1	1	6	11	0	8	3	8	1
西堀	5	1	0	0	1	0	3	1	4	0	1	0	1	3
亀田	8	0	1	1	0	1	5	6	2	0	5	3	1	0
神山	10	0	1	2	2	3	2	4	5	1	6	0	1	3
よろこび	12	3	1	3	1	1	3	2	10	0	1	4	5	3
社協	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
合計	104	12	13	16	19	12	32	31	67	6	42	18	36	17
H28実績	93	8	15	17	14	17	21	33	55	4	57	14	11	16

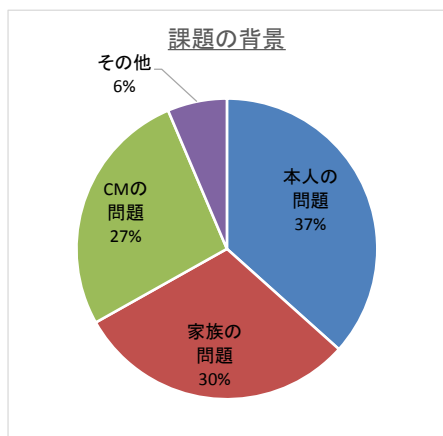


- ・平成28年度と同様、支援を行った介護支援専門員の経験年数に特徴はなかったが、主任介護支援専門員の資格がない者が60%を占めた。
- ・介護支援専門員の知識や技術について、9%はどちらも不十分で、34%はどちらかが不十分であった。個別支援を通じたスキルアップを図ることはもちろんのこと、状況の分析を行い、ケアプラン指導研修やその他の事業・資源も活用しながら、全体のスキルアップを効果的に図る必要があると考えられる。

(6) 課題の背景(重複あり)

(人)

センター名	対象者数	対象者本人の問題	対象者家族の問題	CMの問題	その他	その他の内訳
あさひ	14	7	9	5	1	1 居宅介護支援事業所の経営者の問題
こん中央	18	12	8	9	2	2 地域との関わりや情報共有不足
ときとう	6	6	6	3	2	2 サービス事業者との支援の方向性の不一致
ゆのかわ	13	8	5	5	1	1 施設管理者との役割分担
たかおか	17	9	9	9	4	4 サービスの不足、アルコール依存症の治療の困難性、地域の支援者の負担感の増大、緊急対応やその判断に対する不安
西 堀	5	4	1	4	1	1 事業所管理者の支援のスタンスの問題
亀 田	8	7	2	1	0	
神 山	10	8	7	1	0	
よろこび	12	2	4	9	0	
社 協	1	0	1	0	0	
合 計	104	63	52	46	11	
H28実績	93	59	41	32	16	



- ・課題の背景では、対象者本人の問題、対象者家族の問題が67%を占め、本人や家族に問題を抱えるケースでは支援の困難性が高まると考えられる。
- ・介護支援専門員の知識や技術不足が課題につながったケースも27%あり、前述のとおり、介護支援専門員全体のスキルアップを図る必要があると考えられる。

【包括的支援事業】地域ケア会議推進事業

1 地域ケア会議開催状況

(1) 実施回数と計画数値の達成率(実数)

(回)

センター名	個別ケースの検討			地域課題の検討			合計		
	実施回数	計画数値	計画数値の達成率	実施回数	計画数値	計画数値の達成率	実施回数	計画数値	計画数値の達成率
あさひ	5	5	100.0%	4	3	133.3%	9	8	112.5%
こん中央	6	6	100.0%	3	3	100.0%	9	9	100.0%
ときとう	6	6	100.0%	3	3	100.0%	9	9	100.0%
ゆのかわ	8	7	114.3%	5	4	125.0%	13	11	118.2%
たかおか	7	6	116.7%	3	3	100.0%	10	9	111.1%
西 堀	5	5	100.0%	2	2	100.0%	7	7	100.0%
亀 田	7	7	100.0%	3	3	100.0%	10	10	100.0%
神 山	7	7	100.0%	6	4	150.0%	13	11	118.2%
よろこび	7	6	116.7%	3	3	100.0%	10	9	111.1%
社 協	4	3	133.3%	2	2	100.0%	6	5	120.0%
合 計	62	58	106.9%	34	30	113.3%	96	88	109.1%
H28実績	61	58	105.2%	31	29	106.9%	92	87	105.7%

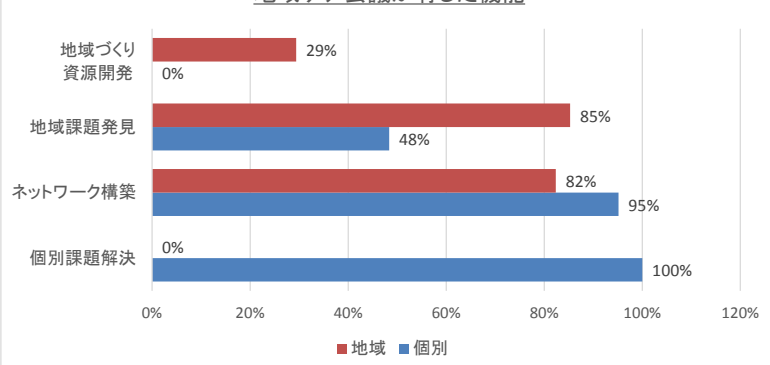
- ・ 個別ケースの検討を行う地域ケア会議は、全センター計画数値以上の実施となった。実施した全ての会議が個別課題解決機能を、95%がネットワーク構築機能を有しており、地域で高齢者を支えるためのネットワークづくりの場として有効に活用されていた。
- ・ 地域課題の検討を行う地域ケア会議も、全センターで計画数値以上の実施となった。実施した会議のうち、85%が地域課題発見機能を、82%がネットワーク構築機能を有し、地域全体で地域の課題を検討する場として機能しているものの、地域づくりや資源開発機能を有する会議は30%未満にとどまった。
- ・ 平成29年度は、各センターの代表者と市で「地域ケア会議体系デザイン検討会」を9回開催しており、個別ケースの検討を行う地域ケア会議を中心に、実施方法や記録様式、地域課題を抽出するための検討を行った。平成30年度も引き続き検討会を開催し、地域課題の検討を行う地域ケア会議についての検討を行うことで、より効果的な運営を目指していく。

(2) 地域ケア会議が有した機能(実数・重複あり)

(回)

センター名	個別ケースの検討				地域課題の検討				合計			
	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発
あさひ	5	5	3	0	0	4	3	1	5	9	6	1
こん中央	6	6	3	0	0	3	3	1	6	9	6	1
ときとう	6	6	1	0	0	3	3	1	6	9	4	1
ゆのかわ	8	8	8	0	0	5	5	4	8	13	13	4
たかおか	7	7	5	0	0	3	3	0	7	10	8	0
西 堀	5	5	3	0	0	2	0	0	5	7	3	0
亀 田	7	7	2	0	0	1	3	0	7	8	5	0
神 山	7	5	1	0	0	3	4	1	7	8	5	1
よろこび	7	7	4	0	0	2	3	2	7	9	7	2
社 協	4	3	0	0	0	2	2	0	4	5	2	0
合 計	62	59	30	0	0	28	29	10	62	87	59	10
H28実績	61	51	39	2	0	26	29	9	61	77	68	11

地域ケア会議が有した機能



(3) 地域ケア会議の参集者

① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(人)

センター名	開催回数	本人	家族	近隣住人	民生委員	町会役員	在宅福祉	CM	医療機関	行政	その他	合計
あさひ	5	2	6	1	6	1	1	5	2	0	11	35
こん中央	6	0	0	1	4	2	7	3	12	6	11	46
ときとう	6	0	0	1	8	7	2	3	1	2	9	33
ゆのかわ	8	0	1	2	1	0	1	5	7	19	18	54
たかおか	7	0	1	3	8	1	0	4	0	9	16	42
西堀	5	0	3	1	5	2	1	6	3	6	12	39
亀田	7	1	1	1	5	0	0	7	7	6	22	50
神山	7	2	0	5	5	0	1	4	4	2	2	25
よろこび	7	3	3	5	10	4	2	5	0	0	15	47
社協	0	2	4	0	2	0	0	2	2	5	9	26
合計	62	10	19	20	54	17	15	44	38	55	125	397
H28実績	61	2	20	12	51	35	7	51	26	56	102	362

*医療機関の内訳

函館中央病院(相談員, 看護師), 五稜郭病院(相談員), 亀田病院(精神保健福祉士, 看護師), 亀田北病院(精神保健福祉士), 函館脳神経外科病院(相談員)
高橋病院(相談員, 看護師), 稜北病院(医師, 看護師), 稜北クリニック(医師, 看護師), 富田病院(精神保健福祉士), 渡辺病院(精神保健福祉士)
五稜郭メンタルクリニック(医師, 相談員, 看護師), 今内科消化器科(医師, 看護師), おおてまちクリニック(看護師), 第一内科(医師),
楳法華クリニック(医師)

*行政の内訳

高齢福祉課, 障がい保健福祉課, 生活支援課, 住宅課, 亀田福祉課, 湯川福祉課, 東部保健事務所, 楳法華支所, 住宅公社

*その他の内訳

社会福祉協議会楳法華支所, 自立生活支援専門員, 介護保険事業所, 有料老人ホーム, 社会福祉士事務所, 配食サービス事業者, 障がい者相談事業所,
障害サービス事業者, 道警函館方面本部, 医療・介護連携支援センター, 成年後見センター, 老人福祉センター, 中央警察署, 西警察署, 交番, 弁護士, 郵便局,
薬局, 銀行, スーパー, コンビニ, 葬儀会社, 住宅管理会社, 住宅管理人, マンション自治会, 大家, 地主, 自助グループ, 市議会議員, 友人, その他民間業者

② 地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(人)

センター名	開催回数	本人	家族	地域住民	民生委員	町会役員	在宅福祉	CM	医療機関	行政	その他	合計
あさひ	4	0	0	0	0	34	11	0	0	4	5	54
こん中央	3	0	0	18	10	15	16	0	0	4	24	87
ときとう	3	0	0	0	8	9	4	0	0	2	8	31
ゆのかわ	5	0	0	86	0	73	0	29	1	10	136	335
たかおか	3	0	0	0	29	44	13	24	0	12	53	175
西堀	2	0	0	15	6	15	0	0	0	0	1	37
亀田	3	0	0	0	31	1	16	0	0	1	9	58
神山	6	0	0	12	16	16	0	7	0	0	50	101
よろこび	3	0	0	0	4	16	2	5	5	3	21	56
社協	2	0	0	0	6	1	0	3	0	6	27	43
合計	34	0	0	131	110	224	62	68	6	42	334	977
H28実績	31	0	1	106	160	230	42	42	1	24	118	724

*医療機関の内訳

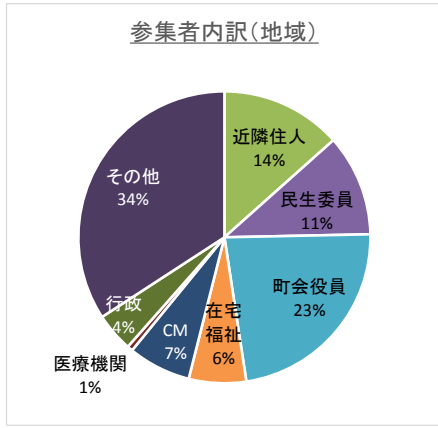
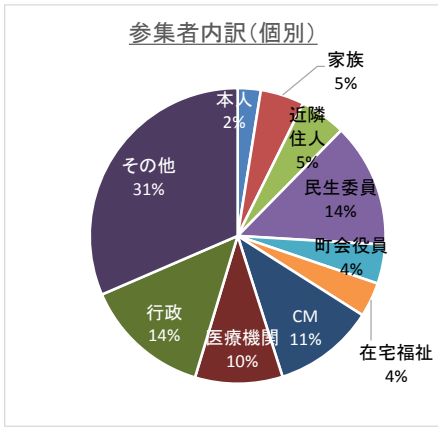
向山歯科医院(歯科医師)

*行政の内訳

高齢福祉課, 東部保健事務所, 楳法華支所, 南茅部支所

*その他の内訳

介護保険事業所, 医療・介護連携支援センター, 在宅歯科医療連携室, 有料老人ホーム, ケアハウス, 養護老人ホーム, 障がいサービス事業者, 消防署,
中央警察署, 社会福祉協議会, 第1層生活支援コーディネーター, 地域交流まちづくりセンター, 法テラス, 日吉が丘小学校(児童), 深堀小学校(児童),
湯川小学校, 桔梗小学校, ラサール高校(生徒), 函館臨床福祉専門学校(学生), 郵便局, 薬局, 新聞社, 商店, 寺院, 整骨院, 漁協女性部, 子ども食堂,
老人クラブ, その他民間業者



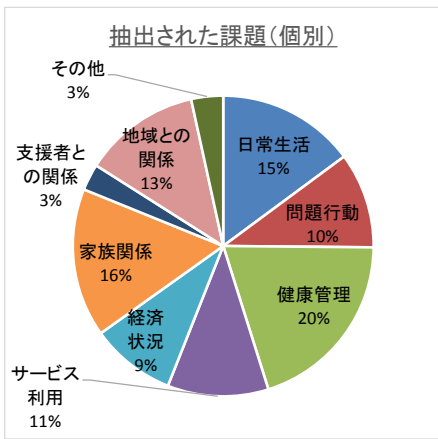
- ・個別ケースの検討を行う地域ケア会議の1回あたりの参加者数は、平成28年度の5.9人から6.4人と増加した。内訳をみると、本人、近隣住人、在宅福祉委員、医療機関の参加者数が増えており、介護福祉関係者以外の方にとっても、身近な会議となってきたと考えられる。とくに医療機関では、これまで相談員や看護師の参加がほとんどだったが、平成29年度は医師が参加した医療機関が6か所あり、個別ケースへの支援を通じた医療介護連携の場としても機能してきたと考えられる。
- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議でも、1回あたりの参加者数が平成28年度の23.4人から28.7人と増加したが、センターにより開催規模は異なる。内訳をみると、地域住民やその他の参加者が増加している。とくに、その他の参加者では、小学生や高校生、大学・専門学生の参加が著しく増加しており、多世代交流の場としても活用されていると考えられる。

(4) 地域ケア会議で抽出された課題

① 個別ケースについての課題(延数・重複あり)

(件)

センター名	日常生活	問題行動	健康管理	サービス利用	経済状況	家族関係	支援者との関係	地域との関係	その他	合計
あさひ	2	2	3	2	1	3	1	2	0	16
こん中央	4	1	5	4	0	1	0	2	0	17
ときとう	4	1	3	1	0	3	1	3	0	16
ゆのかわ	2	3	2	1	2	6	0	5	0	21
たかおか	2	4	2	0	2	4	1	4	0	19
西 堀	1	2	3	2	1	2	0	2	1	14
亀 田	5	2	4	3	6	3	2	2	3	30
神 山	2	1	6	4	1	4	0	1	0	19
よろこび	2	2	5	1	0	0	0	0	1	11
社 協	2	0	2	1	3	2	0	1	1	12
合 計	26	18	35	19	16	28	5	22	6	175
H28実績	33	29	26	3	14	27	4	24	7	167



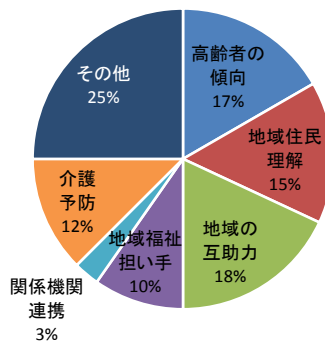
- ・個別ケースの検討を行う地域ケア会議で抽出された課題は、平成28年度とほぼ同様の傾向で、適切に受診や薬物管理ができていないなど健康管理の問題や障がいをもつ家族や疎遠な家族など家族関係の問題、家事を適切に行えないなど日常生活上の問題に関連する課題が多く抽出された。
- ・これまで、個別ケースの検討を行う地域ケア会議で抽出された課題を積み上げ、地域課題の抽出に活かす仕組みが不十分だったが、平成30年度は記録様式の見直しにより課題の積み上げを行うほか、新たに日常生活圏域レベルの地域課題の検討を行う場を設けることにより、個への支援のみならず、地域の高齢者全体の支援体制の充実にに向けた検討を行う必要がある。

②地域課題(延数・重複あり)

(件)

センター名	高齢者の傾向	地域住民理解	地域の互助力	地域福祉担い手	関係機関連携	介護予防	その他	合計
あさひ	2	2	1	1	0	0	1	7
こん中央	1	1	1	0	1	1	3	8
ときとう	1	1	2	3	0	1	0	8
ゆのかわ	2	5	4	0	0	0	3	14
たかおか	1	0	2	0	0	2	4	9
西 堀	0	1	0	0	0	0	1	2
亀 田	0	0	0	0	0	1	1	2
神 山	2	0	1	2	1	3	2	11
よろこび	2	0	2	0	0	0	1	5
社 協	1	1	0	1	0	1	2	6
合 計	12	11	13	7	2	9	18	72
H28実績	16	9	13	12	5	5	14	74

抽出された課題(地域)



- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議のテーマは多岐に渡っており、抽出された地域課題（個別ケースの検討も含む）もテーマによって様々で、特徴的なことはなかった。
- ・抽出された地域課題は、会議の参加者の意見をまとめたものが多く、問題の要因の分析まで行われていないものもある。平成30年度は、日常生活圏域レベルの地域課題の検討を行う場を新たに設けることにより、会議での地域課題の抽出、共有が行いやすくなるような仕組みづくりが必要である。

(5) 地域ケア会議で検討された解決策

① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(件)

センター名	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス等 調整	周知	家族への 支援	健康管理 支援	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	介護予防	地域づくり	その他	合計
あさひ	2	2	3	0	2	2	4	4	0	0	0	19
こん中央	2	2	6	0	1	2	3	1	0	0	1	18
ときとう	4	4	1	1	1	1	2	2	0	0	1	17
ゆのかわ	0	0	6	0	6	1	4	3	0	0	3	23
たかおか	4	4	1	1	2	2	3	2	0	0	1	20
西 堀	2	1	3	1	2	4	0	2	0	0	2	17
亀 田	2	4	4	1	0	2	6	5	0	0	3	27
神 山	2	2	4	0	2	3	2	4	0	0	1	20
よろこび	4	2	4	0	0	0	4	3	0	0	0	17
社 協	2	0	3	0	3	2	0	0	0	0	3	13
合 計	24	21	35	4	19	19	28	26	0	0	15	191
H28実績	28	23	25	10	13	14	24	14	0	0	14	165

・個別ケースの検討を行う地域ケア会議で検討された解決策としては、介護保険サービス等の利用調整や地域も含めた支援者のネットワーク構築、見守り体制の構築が多く、地域ケア会議を通してインフォーマルな資源も含めた支援体制を構築できたと評価できる。特に、近隣住人や在宅福祉委員の参加が増えたことから、地域住民同士、地域住民と関係機関のネットワーク構築が増加している。

② 地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(件)

センター名	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス等 調整	周知	家族への 支援	健康管理 支援	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	介護予防	地域づくり	その他	合計
あさひ	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	5
こん中央	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	1	6
ときとう	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	6
ゆのかわ	3	0	0	5	0	0	0	1	0	2	0	11
たかおか	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	6
西 堀	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
亀 田	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
神 山	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	3
よろこび	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	4
社 協	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3
合 計	4	0	0	10	0	0	6	14	3	7	3	47
H28実績	5	1	0	10	0	0	5	8	4	15	3	51

・地域課題の検討を行う地域ケア会議で検討された解決策として、地域住民同士および地域住民と関係機関のネットワーク構築や地域住民への周知が多く、平成28年度と比較して地域づくりが半減した。

・地域課題の抽出に留まり解決策の検討を行えなかったものや、解決策の検討は行ったものの具体的な検討には至っていないものも多く、会議体系のデザインの検討を通し、会議のあり方について改めて整理する必要があると考えられる。

2 住民等に対する広報・啓発活動

①地域ケア会議にかかる広報・啓発

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あさひ	1	1
こん中央	1	1
ときとう	1	4
ゆのかわ	0	4
たかおか	1	1
西 堀	0	2
亀 田	2	3
神 山	0	1
よろこび	0	5
社 協	11	15
合 計	17	37
H28実績	1	44

②地域での見守りにかかる広報・啓発

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あさひ	4	2
こん中央	2	1
ときとう	0	13
ゆのかわ	1	1
たかおか	7	1
西 堀	1	5
亀 田	2	3
神 山	1	3
よろこび	0	3
社 協	6	9
合 計	24	41
H 2 8 実 績	6	16

・地域ケア会議および地域での見守りに係る広報・啓発回数は、平成28年度に比べて大幅に増加した。平成29年度センター運営方針の重点取組み事項として、地域住民に対する地域の見守りに関する普及啓発の強化を位置づけた効果と考えられる。

・地域ケア会議の参加者が増加しており、これまでの広報・啓発の結果、地域住民や関係機関の理解も広まっていると評価できる。

【任意事業】

1 住宅改修支援事業

(1) 住宅改修支援状況(延数)

(回)

センター名	支援回数
あさひ	17
こん中央	18
ときとう	15
ゆのかわ	19
たかおか	30
西堀	22
亀田	30
神山	18
よろこび	13
社協	15
合計	197
H28実績	205

(2) 住民に対する広報・啓発活動(延数)

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレットの配布
あさひ	0	1
こん中央	0	1
ときとう	0	7
ゆのかわ	0	2
たかおか	1	1
西堀	0	1
亀田	1	3
神山	0	1
よろこび	3	5
社協	7	0
合計	12	22
H28実績	5	6